

長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会設置要領 新旧対照表

改正後	現行
<p>長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会設置要領</p> <p>(設置)</p> <p>第1条 長崎県土木部所管の建設工事のうち、総合評価落札方式（標準型、簡易型）に関する事項のうち技術提案の審査、総合評価落札方式（<u>担い手育成型</u>）施工計画の審査、及び施工体制確認型総合評価落札方式の施工体制評価点の審査を行うため、長崎県土木部所管競争参加資格委員会の下部組織として、長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会（以下「技術審査分科会」という。）を設置する。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 会長は技術審査分科会を総理する。</p> <p>2 技術審査分科会は、建設企画課長を会長とし、本庁工事担当主務課総括課長補佐及び土木部内の各課室の総括課長補佐（室の場合は課長補佐）のうち、会長が技術審査分科会開催前に指名する3名を会員として組織する。</p> <p>3 技術審査分科会の庶務は、建設企画課が行うものとする。</p> <p>(技術審査分科会の招集及び運営)</p> <p>第3条 技術審査分科会は、会長が召集する。</p> <p>2 技術審査分科会は、会長、本庁工事担当主務課総括課長補佐及び会員3名をもって成立するものとする。ただし本庁工事担当主務課総括課長補佐が不在又は本庁工事担当主務課総括課長補佐に事故があるときは、本庁工事担当主務課課長がその職務を代理する。</p>	<p>長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会設置要領</p> <p>(設置)</p> <p>第5条 長崎県土木部所管の建設工事のうち、総合評価落札方式（標準型、簡易型）に関する事項のうち技術提案の審査、総合評価落札方式（若手技術者育成型）施工計画の審査、及び施工体制確認型総合評価落札方式の施工体制評価点の審査を行うため、長崎県土木部所管競争参加資格委員会の下部組織として、長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会（以下「技術審査分科会」という。）を設置する。</p> <p>(組織)</p> <p>第6条 会長は技術審査分科会を総理する。</p> <p>2 技術審査分科会は、建設企画課長を会長とし、本庁工事担当主務課総括課長補佐及び土木部内の各課室の総括課長補佐（室の場合は課長補佐）のうち、会長が技術審査分科会開催前に指名する3名を会員として組織する。</p> <p>3 技術審査分科会の庶務は、建設企画課が行うものとする。</p> <p>(技術審査分科会の招集及び運営)</p> <p>第7条 技術審査分科会は、会長が召集する。</p> <p>2 技術審査分科会は、会長、本庁工事担当主務課総括課長補佐及び会員3名をもって成立するものとする。ただし本庁工事担当主務課総括課長補佐が不在又は本庁工事担当主務課総括課長補佐に事故があるときは、本庁工事担当主務課課長がその職務を代理する。</p>

長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会設置要領 新旧対照表

改正後	現行
<p>3 会長は、審査を行うにあたり、必要に応じて第三者を指名し、意見を徵収することができるものとする。</p> <p>(技術審査分科会の職務)</p> <p>第4条 会長は、長崎県土木部所管競争参加資格委員会第4条(9)ウ、(10)ア、(11)アにより委ねられた事項について、審査を行うものとする。 なお、<u>他の知事部局</u>より総合評価落札方式の審査依頼があった場合は、これを受けることができるものとする。</p> <p>2 会長は審査結果について、総合評価審査委員会から意見を聴取するものとする。</p> <p>3 会長は、審査結果に対し、総合評価審査委員会より、異なる意見が出た場合は、再度審査を行うものとする。</p> <p>4 会長は、総合評価審査委員会の意見及び再審査結果を長崎県土木部所管競争参加資格委員会の委員長へ必要に応じて報告するものとする。</p> <p>5 会長は、標準型の技術提案の審査結果は技術提案確認通知書の通知期限前までに、簡易型の技術提案の審査結果及び<u>担い手育成型</u>の施工計画の審査結果は入札書の提出期限から開札直前までに、施工体制確認型の施工体制評価点の審査結果はすみやかに、契約担任者へ回答するものとする。</p>	<p>3 会長は、審査を行うにあたり、必要に応じて第三者を指名し、意見を徵収することができるものとする。</p> <p>(技術審査分科会の職務)</p> <p>第8条 会長は、長崎県土木部所管競争参加資格委員会第4条(9)ウ、(10)ア、(11)アにより委ねられた事項について、審査を行うものとする。 なお、水産部より漁港関係工事における総合評価落札方式の審査依頼があった場合は、これを受けることができるものとする。</p> <p>2 会長は審査結果について、総合評価審査委員会から意見を聴取するものとする。</p> <p>3 会長は、審査結果に対し、総合評価審査委員会より、異なる意見が出た場合は、再度審査を行うものとする。</p> <p>4 会長は、総合評価審査委員会の意見及び再審査結果を長崎県土木部所管競争参加資格委員会の委員長へ必要に応じて報告するものとする。</p> <p>5 会長は、標準型の技術提案の審査結果は技術提案確認通知書の通知期限前までに、簡易型の技術提案の審査結果及び若手技術者育成型の施工計画の審査結果は入札書の提出期限から開札直前までに、施工体制確認型の施工体制評価点の審査結果はすみやかに、契約担任者へ回答するものとする。</p>

長崎県土木部競争参加資格委員会技術審査分科会設置要領 新旧対照表

改正後	現行
6 他の知事部局より依頼があった場合会長は、審査結果、総合評価審査委員会の意見及び再度審査を行った場合その結果をすみやかに <u>その部局</u> へ回答するものとする。	6 水産部より依頼があった場合会長は、審査結果、総合評価審査委員会の意見及び再度審査を行った場合その結果をすみやかに水産部へ回答するものとする。
6 削除	6 削除
7 削除	7 削除
附則 この要領は平成20年4月1日から施行する。 この要領は平成20年7月22日から施行する。 この要領は平成23年5月1日から施行する。 この要領は平成25年6月22日から施行する。 この要領は平成25年7月1日から施行する。 この要領は平成26年4月1日から施行する。 <u>この要領は平成27年4月1日から施行する。</u>	附則 この要領は平成20年4月1日から施行する。 この要領は平成20年7月22日から施行する。 この要領は平成23年5月1日から施行する。 この要領は平成25年6月22日から施行する。 この要領は平成25年7月1日から施行する。 この要領は平成26年4月1日から施行する。

此中人语云：不足为外人道也。既出，得其船，便扶向路，处处志之。及郡下，诣太守，说如此。太守即遣人随其往，寻向所志，遂迷，不复得路。

南阳刘子骥，高尚士也。

闻之，欣然规往。

未果，寻病终。

后遂无问津者。

晋太元中，武陵人捕鱼为业。

缘溪行，忘路之远近。

忽逢桃花林，夹岸数百步。

中无杂树，芳草鲜美。

落英缤纷，渔人甚异之。

复前行，欲穷其林。

林尽水源，便得一山。

山有小口，仿佛若有光。

便舍船，从口入。

初极狭，才通人。

复行数十步，豁然开朗。

土地平旷，屋舍俨然。

有良田美池桑竹之属。

阡陌交通，鸡犬相闻。

其中往来种作，男女衣着，悉如外人。

黄发垂髫，并怡然自乐。

见渔人，乃大惊，问所从来。具答之。便要还家，设酒杀鸡作食。村中闻有此人，咸来问讯。自云先世避秦时乱，率妻子邑人来此绝境，不复出焉，遂与外人间隔。问今是何世，乃不知有汉，无论魏晋。此人一一为具言所闻，皆叹惋。余人各复延至其家，皆出酒食。停数日，辞去。

此中人语云：

不足为外人道也。

既出，得其船，便扶向路，处处志之。

及郡下，诣太守，说如此。

太守即遣人随其往，寻向所志，遂迷，不复得路。

南阳刘子骥，高尚士也。

闻之，欣然规往。

未果，寻病终。

后遂无问津者。

晋太元中，武陵人捕鱼为业。

缘溪行，忘路之远近。

忽逢桃花林，夹岸数百步。

中无杂树，芳草鲜美。

落英缤纷，渔人甚异之。

复前行，欲穷其林。

林尽水源，便得一山。

山有小口，仿佛若有光。

便舍船，从口入。

初极狭，才通人。

复行数十步，豁然开朗。

土地平旷，屋舍俨然。

有良田美池桑竹之属。

阡陌交通，鸡犬相闻。

其中往来种作，男女衣着，悉如外人。

黄发垂髫，并怡然自乐。